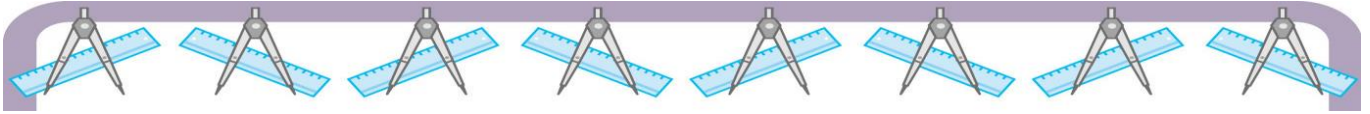


令和元年5月13日  
練馬区立光が丘春の風小学校  
ひかりルーム No. 2

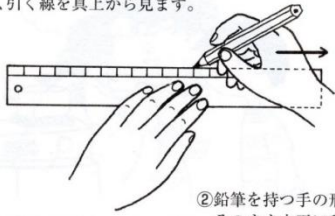


## ○定規を使うコツ

定規で上手に線を引くには、定規がずれないように中央部をしっかりと押さえ、引く線を真上から見るようにすること、紙と鉛筆の角度を一定にして線を引く、途中で鉛筆を持ち替えたりしないことです。

### ●横の線を引く

①定規の中央を左手でしっかり押さえ、引く線を真上から見ます。



②鉛筆を持つ手の形を変えずに、そのまま水平に移動させます。

### ●縦の線を引く

①定規の中央を左手でしっかり押さえ、引く線を真上から見ます。



②右手首を動かさずに、肘をずらして鉛筆を手前に移動させます。

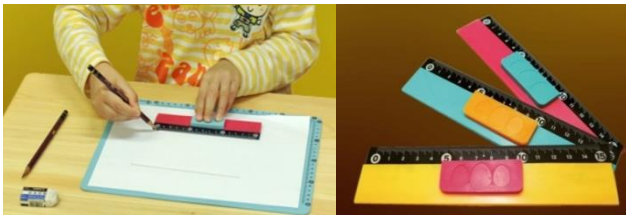
参照：『イラスト版学習のこつ 子どもとマスターする49の学習動作』子どもの生活科学研究会[編]

## ○市販されている使いやすい定規

※全ての商品について公式ホームページより参照

### ●持ちやすい、滑りにくい定規（線を書いている内に定規が動いてしまう人にオススメ）

<Qスケール15>



両面がシリコンゴムに覆われているため、滑り止め効果が非常に高い構造になっています。上部に取手があることで、押さえる場所が明確になり、容易に移動することが可能です。

<ナノピタキッズ直線定規>



ナノピタ独自の滑り止め加工で滑らない構造になっています。数字が大きく見やすいのも特徴の一つです。三角定規、分度器等とセットでも販売されています。

### ●メモリが見やすい定規（長さを測り間違ったり、メモリを見間違ったりする人にオススメ）

<クツワSTAD算数定規>



定規の端からメモリが始まるため、スタートの位置で迷ったり、測り間違えたりしにくくなります。文字が大きく、教科書で使用されている字体のため、見やすくなっています。

